



2025 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社マーケットエンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
(コード：3135、東証プライム)
問合せ先 常務取締役 今村 健一
(TEL. 03-5159-4060)

報告セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、2026 年 6 月期第 1 四半期より報告セグメントを変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

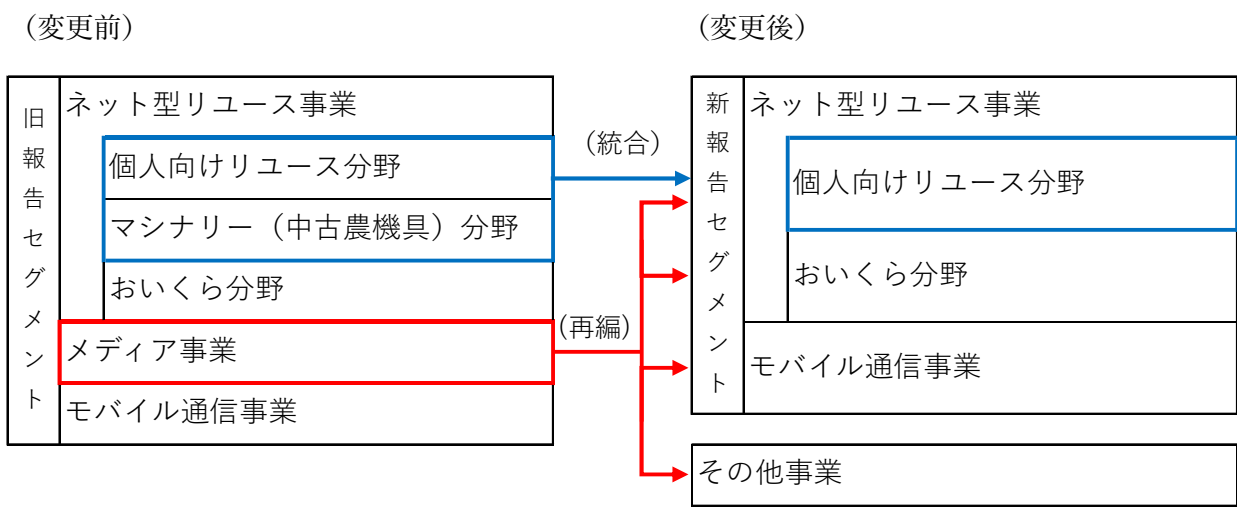
当社グループは、2023 年 8 月 14 日にローリング方式による中期経営計画を公表し、最終年度（2026 年 6 月期）において売上高 300 億円、営業利益 20 億円の達成を目指してまいりました。これらの目標達成に向け、主として個人向けリユース分野の成長を推進し、拡大を続けるリユース市場におけるプレゼンス確立を目指してきたところでありますが、その後、中期経営計画策定時に想定していた外部環境や事業前提に変化が生じており、特にもう一つの成長の軸と位置付けていたマシナリー（中古農機具）分野においては、海上輸送等の問題から海外販売の動向が安定せず、足踏みが続いております。その結果、当初掲げた 2026 年 6 月期の中期経営計画目標（売上高 300 億円、営業利益 20 億円）については、現時点において達成が困難な状況となっております。一方で、モバイル通信事業が想定を上回る成長を遂げているほか、複数の事業分野において新たな成長機会が見えつつあります。こうした環境の変化に対応し、今後も持続的な成長を実現していくためには、従来の前提に基づいた事業運営体制を最新の経営環境に適した形へ刷新することが重要であると判断し、今般、当社は報告セグメントの統合を含む事業運営体制の見直しを図ることにより、変化する市場環境のもとで、収益性と成長性を両立する新たな事業ポートフォリオの構築を目指してまいります。

具体的には、当社は、事業シナジーの一層の強化および顧客接点の最大化を通じたクロスバイ機会の創出を目的として、報告セグメントの区分を見直します。まず、中古農機具を取り扱う「マシナリー分野」と、一般消費者向けのリユースサービスを展開する「個人向けリユース分野」を統合し、共通する顧客基盤およびマーケティング手法を活用した追加商材の買い上げ促進等、より効率的かつ収益性の高い事業運営体制を構築します。また、様々なインターネットメディアの展開を通じて、社内外への送客を行っていた「メディア事業」については、従来の独立した報告セグメントから、各事業セグメントへ機能を分割・再編いたします。これにより、各セグメントにおいて一貫した顧客体験を提供することで提供価値の最大化を目指し、生成 AI の台頭により検索行動が変化をしようとする環境下、インターネット経由での集客力の更なる強化に加えて顧客生涯価値（LTV）の向上を図ります。当社は、今回の報告セグメント区分見直しにより、事業横断的なシナジーの深化と、顧客価値の最大化を同時に実現してまいります。

2. 変更の概要

従来は、「ネット型リユース事業」「メディア事業」「モバイル通信事業」、3つの報告セグメントに基づき開示しておりましたが、このうち「メディア事業」について既存各事業・各分野とのシナジー強化を目的に再編し、

「ネット型リユース事業」および「モバイル通信事業」の2事業を新報告セグメントとするとともに、「その他事業」へ区分いたします。また同様に、従来、ネット型リユース事業において3つに区分していた「個人向けリユース分野」「マシナリー（中古農機具）分野」「おいくら分野」のうち、「個人向けリユース分野」および「マシナリー（中古農機具）分野」を統合し、「個人向けリユース分野」と「おいくら分野」の2区分に再編いたします。



3. 変更の時期

2026 年 6 月期第 1 四半期決算発表より、新報告セグメント区分にて報告いたします。

以上